

産業サイバーセキュリティ研究会 WG1 電力 SWG（第10回）議事要旨

日時 : 令和2年12月17日（木）10時00～12時00分

出席者 :

（座長）	渡辺 研司	名古屋工業大学大学院
（委員）	有村 浩一	JPCERT/CC
	稲垣 隆一	稲垣隆一法律事務所
	岩見 章示	電力 ISAC
	江崎 浩	東京大学大学院
	大崎 人士	産業技術総合研究所
	大友 洋一	電気事業連合会
	門林 雄基	奈良先端科学技術大学大学院
	桑名 利幸	情報処理推進機構
	新 誠一	電気通信大学
	高倉 弘喜	国立情報学研究所
	谷口 浩	東京電力ホールディングス株式会社
	手塚 悟	慶應義塾大学
	新田 哲	JFE ホールディングス株式会社

議題

1. 日本卸電力取引所及び電力広域的運営推進機関におけるサイバーセキュリティ対策について
2. 新規プレーヤーのサイバーセキュリティ対策について

要旨

1. 日本卸電力取引所及び電力広域的運営推進機関におけるサイバーセキュリティ対策について

- (1) 「日本卸電力取引所と電力広域的運営推進機関におけるサイバーセキュリティ対策について」を事務局より説明。
- (2) 「日本卸電力取引所におけるサイバーセキュリティ対策」を日本卸電力取引所より説明。
- (3) 「電力広域的運営推進機関におけるサイバーセキュリティ対策」を電力広域的運営推進機関より説明。
- (4) 自由討議
 - 日本卸電力取引所、電力広域的運営推進機関のそれぞれが実施するセキュリティ対策の詳細の確認及び委員からの助言が行われた。
 - 日本卸電力取引所及び電力広域的運営推進機関が、それぞれのセキュリティへの期待やレベルを認識し、対策を講じていくことが重要である。

2. 新規プレーヤーのサイバーセキュリティ対策について

- (1) 「小規模発電設備等における実態ヒアリングに関する現状報告」を事務局より説明。
- (2) 自由討議
 - 機能保証の観点で、業務の継続性や復旧の基準・手法についてヒアリングで確認する必要がある。
 - 新規設置に関する観点だけでなく、設置後の運用やメンテナンスに係る観点も確認できるとよい。
 - 想定外の事象が起きた場合の対応方針や訓練の実施状況についてヒアリングで確認する必要がある。
- (3) 「小売電気事業者のサイバーセキュリティの確保について」を事務局より説明。
- (4) 自由討議
 - システム開発時の完全性の確保について追記する必要がある。
 - 利用方法を適切に誘導できるようなガイドラインの構成にしていきたい。
 - ガイドラインを本電力 SWG の名義で公表することには同意する。一方、継続して改訂することが重要であり、業界団体を中心に活用を推進できるとよい。

(以上)

お問い合わせ先

資源エネルギー庁 電力産業・市場室

電話：03-3501-1748